



○町民大運動会

十月二日(日)、町民大運動会が笠松中学校グラウンドで開催された。これが終わらないと秋が来た実感が湧かない、心も落ち着かないという人がいるほど昔から

がることを願って岐阜女子大学から提案され採用された。Tシャツの胸の部分には「**道德のまち笠松**」、背中に「**心のまち**」と白字で記されている。これは、道德のまちづくりに賛同いただいた町内の書家岩田圭雪氏の筆によるもの。このTシャツには、**心温かく活力あるまちづくりへの願い**が込められている。

○中学生ボランティア

十年ほど前は、競技に参加する中学生はいても、ボランティア活動に参加する生徒はほんのわずかであった。しかし、最近では百名を超えるようになり、今年も百三十名もの

続いていく。これが笠松の風土をつくり、わが町への愛着を育むことにつながる。頼もしい姿であり、エールを送りたい。

○心を大切に

オレンジ色Tシャツに袖を通すたびに、シャツに込められた願いに思いを馳せたい。「人とつながる」「自ら取り組む」「思いやる」の三つの心を大切にして、どんな活動にも取り組むことを。活動後には、喜んでいただけた人々の笑顔と活動することによって育んだ心がある。これが明日への大切な町のステップとなる。

○なぜ オレンジ色？

オレンジ色から受けるイメージは温さと熱く燃えるエネルギー。この色



百三十名もの中学生が、町民の方々と共に準備、後片付け、大会運営を担ってくれた。将来を担う中学生が、私も町民の一人だという自覚をもち、地域行事に自ら参加し、一般町民と一緒に活動

は「**道德のまち**」のイメージカラーとして活動時に着用するTシャツやのぼりに使用されている。道德のまちづくりが心温かくエネルギーなまちづくりにつな

する中で、わが町笠松の文化や伝統を引き



町民運動会でオレンジ色Tシャツを身につけ景品渡しの活動をする中学生